

2015年度

コミュニティ・コラボレーションセンター

活動報告



コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを受け継ぎ、「地域に根差し、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行っています。その中で、学生が地域の様々な人と幅広い活動に励み、自己を成長させる生きた学びが得られるようにサポートしています。2015年度の活動の一部を以下の通り報告します。

学園創立110周年・大学開設40周年記念行事「コラボメッセ」

10月10日、CCCに所属する学生団体と行政機関、企業、NPO等の団体(以下「CCC連携団体」という)が一堂に会するイベント「コラボメッセ」を開催しました。

学生団体・CCC連携団体合わせて50団体が集まり、ブースでの活動紹介やグループワークを通じて交流を図りました。人と人がつながり、新たな歩みをつくり出す有意義なひとときとなりました。



CCC開設科目

「コミュニティ・サービスマーケティング 多文化共生」では、名古屋市名東区から委託され、名東区の若者向けに、認知症への理解を促すリーフレットを制作・配布しました。そして、認知症の人が安心して暮らせるまちづくりへの参加を提案しました。

CCCでは地域の社会貢献活動に学生が段階的にチャレンジできるよう、様々な体験学習ができる授業を開講しています。



CCC学生団体

CCCには自主活動を行っている学生団体が約30団体あり、今年度も様々な分野で活躍しました。

●ちびっこクローバース



「ちびっこクローバース」は、子どもたちの自主性や協調性を育むことを目的に活動しています。8月22・23日に子どもたちが自らの手でまちをつくるイベント「クローバースタウン」を開催しました。子どもたちが仮想のまちの中で住民登録をし、労働・納税・選挙など実社会に即した体験をするもので、約100人の子どもが参加し、大盛況でした。

●ボランティアサークル あじゅあす



障がいを持った方や、高齢者、児童との交流を中心に活動している「あじゅあす」が、女性による国際的奉仕団体「国際ソロプチミスト」よりシグマソサエティ(国際ソロプチミストがスポンサーシップを提供する学生の奉仕団体)に認証され、10月18日、星が丘キャンパスにて、認証式が盛大に行われました。